夏休み 明るく楽しく安全に

こどもたちは、夏休みをむかえて海に、山にと楽しいプランを立てていることと思いますが、せつかくの楽しい夏休みを、悲しい想い出にしないよう、父兄のみなさんが、こどもたちのよい相談相手になり、次のことをこどもたちにかならず守らせてください。

親子関係
話せる家庭ムードを
計画よく聞き正しく指導

父兄のみなさん

夏休みは、こどもたちの心身をたんれんするチャンスです。各家庭では勉強に海水に、キャンプにと楽しいプランをたてていることと思います。

ところが、規則正しい学校生活から解放され、自由な気持のゆるみから、悪い遊びをおぼえたり、非行にはしつたり、交通事故や水難などの暗いニュースが、私たちの耳にはいつてくるのも、この夏休みが一番多いことをわすれてはなりません。

もちろん、学校では夏休みにはいる前に、ゆきとどいた指導をしてくれますがなによりも大切なことは、各家庭で一日一回はこどもと話し合い、計画性のある有意義な夏休みにすることではないでしようか。

◇非行防止について
①こどもだけの夜間外出はさせない
②華美な服装にならないようにする
③喫煙、飲酒、不健全な遊びは絶対させない

◇健全育成について
①規則正しい生活を習慣ずける
②おくれている科目を勉強させ、学習に対する自信をもたせる
③暴飲、暴食や寝冷えに注意し健康な体を作る
④こどもの行動はたえず注意する

◇交通事故防止について
①路上の遊びはやめさせる
②交通道徳を身につけさせる

◇水・山など遭難防止について
①安全な場所をえらぶ
②行き先きをはつきりさせる
③単独行動はさせない

夏山シーズン
愛鷹山で遭難救助訓練

本格的な夏山シーズンをむかえ、吉原山岳救助隊（川島礼一隊長）は、六月二十六日夜から二十七日にかけて、愛鷹山中で遭難救助訓練を行ないました。

この訓練は、夏山遭難事故に備え、毎年同隊が卒先して行なつているもので、ことしは〝位牌沢、鋸岳付近に遭難発生〟という想定のもとに隊員が適切な救助方法を身につけようと行なつたものです。

当日は、おりしも台風十号くずれの低気圧や梅雨前線の影響で、山中は雨と濃霧に見まわれ割石沢上で下山する事態となつたが、ある若い隊員は「遭難現場まで到達できないで残念ですが、思いもよらない荒天訓練が体験できて、救助隊員としては満足です。しかし一般の登山者は、こうしたことも頭にいれ、山を愛してもらいたいものです」と語つていました。

なお、愛鷹山中での遭難事故は、ここ五、六年間をみても十一件を数え、二名が死亡しています。

夜間の遭難救助訓練をする隊員　—割石沢下で—

金子翁の銅像建立
顕彰会が基金を募る

吉原市名誉市民、前市長故金子彦太郎翁顕彰会（会長斉藤市長）は、昭和四十年三月に発足してから、翁の遺業の数々と遺徳を後世につたえるため「銅像建立」を事業にかかげ、全市民的な行事とするため、その準備を進めてきましたが、このほど次のような計画をたて、市民みなさんに基金の協力をお願いすることになりました。

ありし日の金子翁

建立予定地は市立図書館南側。銅像は全身像で高さ二・四㍍。建立予定月日は十月末。

この趣意書を、七月一日に各家庭に配布いたしましたので、趣旨にご賛同くださる方は、八月三十一日までに嘱託員、各支所、事務局（市長公室内）へお申し出ください。

わが郷土の生んだ偉大なる翁は、まず治山の問題をとりあげ、その豊かな学識を郷土発展のために精魂をかたむけてきた翁は、明治三十八年札幌農学校林学科（現北海道大学）を卒業し、二十九才の若さで政界人となるや、まず治山の問題を取上げ、田子の浦築港を門戸に、岳南一帯の工業開発にのりだしたのであります。

職吉原市長として、昭和三十八年十二月四日に急逝してから、早くも一年半の歳月が流れています。

つねに正義と愛郷の信念をつらぬき、市民の幸せを水路の築構事業を施行しました。

また昭和二年から十五年間、県会議員として腕をふるい、沼川の改修、昭和放水路の築構事業を施行しました。

昭和二十七年に吉原市長に就任、周辺五カ村の合併にのりだし、昭和31年11月藍綬褒章賜授、昭和38年11月黄綬褒章賜授、昭和38年12月正五位勲四等・旭日小綬章を賜る

（金子彦太郎翁顕彰会事務局）

〔主な受賞歴〕
昭和14年8月、県知事表彰
昭和29年10月　林業功労者として農林大臣表彰

を内山の植林にいかしたのです。

また昭和二年から十五年間、県会議員として腕をふるい、沼川の改修、昭和放水路の築構事業を施行しました。

昭和二十七年に吉原市長に就任、周辺五カ村の合併にのりだし、昭和31年11月藍綬褒章賜授、昭和38年11月黄綬褒章賜授、昭和38年12月正五位勲四等・旭日小綬章を賜る

（金子彦太郎翁顕彰会事務局）

クラブの充実
老人講座7月に4回ひらかる

市福祉事務所では、これらクラブの内容を充実させるため、さくねんは二度にわたり老人クラブの指導者研修会をおこないましたがことしも七月九、十六、二十一、二十九日の四回老人講座を開くことになりました。

講座は、九日がクラブ活動のあり方、十六日が老人の健康問題、二十一日が吉原市勢について、二十九日が老人の時事問題解説を、それぞれ専門の講師を招いて話し合うことになつています。

総合デッサン会ひらく

吉原市、富士市、鷹岡町の教育委員会の共催で、第一回総合デッサン会を次のようにおこないます。

▽日時は
8月1日（日）午前10時から午後5時まで
▽場所は
吉原市立体育館
▽モデルは
バレリーナ一名、日本舞踊一名、裸婦一名
▽資格は
15才以上の一般愛好者
▽会費は
一人一〇〇円
▽申し込み先は
吉原市教育委員会社会教育課（電話②三一一四）
電話の申し込みも受け付けます
▽締め切りは
7月24日（土）正午まで

林業生募集

県林業事務所は、昭和40年度県林業機械化指導所の研修生の募集を次のようにおこなつています。

◇科目は
索道科、集材機科、測量法科、継索法科
◇申し込みは
市林産課へ（履歴書、戸籍抄本、推せん書、誓約書、写真が必要です）入所願書は林産課に用意してあります
◇場所は
周智郡森町三倉字大河内県林業機械化指導所
◇その他
・経費は食費の実費のほか運営費として一日二五円が必要です
・研修期間中は原則として全員入寮します。
◇申し込みは定員になると締め切ります。

立入り測量のお知らせ

市都市計画課では、都市計画街路吉原沼津線改良事業に必要な図面を作るため、次の土地内の立ち入り測量をおこなつていますのでお知らせします。

▽立ち入り区域は
・富士岡—上中道、土井口、渋脇、本花寺
・中里—竹ノ内、鳥居前池ド、塚田、今鉾、大坪、大坪平、松之木田榎田
・神谷—東久保田、西久保田、向田、前田
・増川—難波道、鈴田、横町、前田、蒲原
▽立ち入り期間は
昭和四十年七月一日から昭和四十年九月三十日まで

輸出の花
アマリリス

写真はドルをかせぐ大淵のアマリリス＝大淵町一丁目・鈴木さんの畑で—

元吉原の菊づくりに肩を並べようと、大淵の農家が力こぶをいれている作物に「アマリリス、ユリの球根栽培」があります。

大淵が球根栽培をはじめたのは六年前のこと。いまでは大淵町、穴原町など二十農家が約三町歩に、アマリリス約九万本、ユリ約三万本を栽培し、アメリカやハワイに輸出、年間三百万円ものドルをかせいでいます。

六月にはウイルス病の検査も終わり、十月の収獲が待ち遠しいきようこのごろです。

市民会館だより

▽ボイラー技士受験講習会—7月12日から15日。午前9時から午後5時。第一集会室
▽オリンピック映画会—7月13、14、23、24日。午後6時から9時。大ホール
▽謄写印刷技術講習会—7月17、24日。午後1時から4時。第三集会室B
▽沼津労音A例会—7月19日。午後6時から9時。大ホール
▽お母さん教室—7月20日午後1時から5時。第一集会室
▽小中学生写生大会作品集7月23、24、25日。午前9時から午後10時。第一集会室

議事録
六月は…（1日—25日）

◇東海市議会議長会理事会（1日）
岐阜市で開催、正副議長出席「国鉄ダイヤ改正に関する要望決議」ほか2件協議
◇全員協議会（14日）
「公共用地（吉原沼津線）の取得ならびに工事施行について」協議
◇陳情（16日）
国道一号線バイパス道路について建設省に副議長、建設委員長が他市町関係者とともに陳情
◇議会運営委員会（22日）
「六月定例会運営について」協議
◇厚生委員会協議会（22日）
「火葬場について」協議
◇六月定例会（25日）
「昭和40年度吉原市一般会計補正予算議定」ほか18議案を審議

※くわしくは市林産課へお問い合わせください

森林の伐採必ず届出を

森林の立木を伐採するときは、森林法により伐採届書を、伐採する三十日前に市役所を通し県知事に提出することになつています。

無届けのばあいは、造林補助金が取消されることがありますから、必ず届け書を提出してください。

なお、用紙は市林産課または各支所に用意してあります。